行政評価シート(事後評価)

コード (23) 4-2-4	事務事業名 市民農園の設置(農家・市民交流事業)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-----------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律(平成元年法律第58号)に基づき、市が借り受けた農地において市民が自らの手で野菜を栽培することを通して、生産の喜びを知り、農業に対する理解を深めることを目的とする。	☒ 法律 ☐ 条例・規則 ☐ 政令・省令 ☒ 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	現在、市内に4箇所設置されており、平成18年度から1年間あたり1,500円の負担金(水道使用料及び管理委託料相当分)を利用者から徴収している(平成17年度までは年間500円)。 募集に関しては毎年行い、2年間契約である(負担金は2年間分前納)。 なお、農地の借り上げについては、農地保有者に対し固定資産税・都市計画税について減免している。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態
		☒ 直営 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		543	4,984	404	1,919
財源	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
内訳					
その他(負担金)		119	98	344	390
一般財源		424	4,886	60	1,529
所要人員(B)	人	0.17	0.22	0.17	0.22
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,416	1,801	1,387	1,795
臨時職員等賃金(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	1,959	6,785	1,791	3,714
単位当たりコスト (E)=(D)/(区画数)	千円	8	26	7	14

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	
農園数	区画	237	260	260	260	
	実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市民農園として利用者として貸し出している区画数。						
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	
一次 区画数	目標値	ヶ所	4	4	4	4
	実績値	ヶ所	4	4	4	4
二次 保全率	目標値	%				
	実績値	%	2.12	2.35		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 保全率: 市民農園総面積/市街化区域農地で除したもの。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民農園増設の希望有り。しかしながら、該当するような市街化区域農地が見つからず新設が難しい。また募集に関しては2施設ずつローテーションで毎年行えばよいのだが、現在は1施設の年と3施設の年に偏ってしまっている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	☐ 上 ☒ 中 ☐ 下	多摩26市ほぼ全市で実施している。 利用者負担金は、契約時に2年度分前納であるため平成18年度の事業費充当負担金額は、平成17年度歳入107千円/2年=53千円+平成18年度歳入582千円/2年=291千円=344千円となる。
	代替・類似サービスの有無	☒ 有 ☐ 無	体験農園3箇所・家族農園4箇所

コード (23) 4-2-4	事務事業名 市民農園の設置(農家・市民交流事業)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-----------------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	総合計画での位置づけや設置地域を踏まえた計画的整備が望ましいが、候補地となる市街化区域農地の確保が難しい状況にある。また、体験農園等類似事業の位置づけもあり、それらを含めた整備が必要となる。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	市街化農地が対象となるため、必ずしも計画どおりに配置できないという課題がある。しかし、家族農園、体験農園とは異なり、初期投資とともに維持管理費用を要する高コスト型の農園形態にも関わらず、市民ニーズの把握と、ニーズに基づく必要数を設定していない。そうしたニーズ把握を行うとともにより計画性を持った整備事業として構築することが求められる。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	本事業は、市街化農地が対象となるため、計画的整備が難しいなどの課題があるものの、二次評価記載のとおり、市民ニーズの把握等が不十分である。今後はニーズを把握した上で整備見込数を明らかにするなど、より計画性のある整備事業とする必要がある。